

藤沢市街路樹管理計画(案)

街路樹の良好な生育環境と安全で快適な道路空間を両立させる

建設経済

建設経済常任委員会は、時期に来ている。そのため、5月24日と6月10日に開催された。

5月24日の委員会では、議案1件を審査した。その結果、議案は可決すべきものと決定した。

6月10日の委員会では、議案6件を審査した。その結果、議案はすべて可決すべきものと決定した。また、

①藤沢駅周辺地区及び村岡新駅周辺地区の都市整備に伴う経済効果②藤沢市街路樹管理計画(案)——以上2件について報告を受けた。

藤沢市街路樹管理計画(案)の概要

〈市の説明〉

近年、大径木や老木化した街路樹は、根上りや見通しを悪化させるなど様々な問題を引き起こしている。

また、街路樹への市民ニーズの多様化や、厳しい財政状況等もあり、街路樹管理の在り方を見直していく



街路樹に関する様々な課題の解決を目指す

種を中心に、樹木医による診断を行っているが、健全な大径木は全体の約25%と健全度が低下している。

また、街路樹の管理費は、年間約2億9700万円であり、高木、低木類の剪定、除草などが約80%を占めている。

このような現状を踏まえた課題としては、樹形の悪化や大径木化による見通しの悪化など交通安全面への影響、激甚化する台風の影響による老木の倒木被害の増加などが挙げられる。

また、大径木化した樹木の増加等により管理費が年々増加していることから、今後とも予算規模に見合った適切な管理水準を設定していくことが必要である。

これらの課題を踏まえ、街路樹の現状としては、中高木約1万4800本、低木約14・6万平方メートルを管理しており、イチゴウなど大径木化しやすい樹

街路樹管理の目標を「街路樹の適正な管理により、安全で魅力ある・歩きたくなる道路空間を維持・創出すること」とし、基本方針を「良好な街路樹景観の維持・創出②交通安全性の向上・超高齢社会等への対応③メリハリのある管理への移行——以上の3つとした。

取組の進め方としては、街路樹のある路線を、①藤沢・湘南台・辻堂等の駅前周辺や辻堂駅遠藤線の街路樹景観を代表する「景観路線」②老木化などにより様々な課題を抱えている湘南ライフタウン内・鶴沼海岸引地線等の「再生路線」③それ以外の路線——以上3つに分類して、路線ごとの特性に応じたメリハリのある管理を行っていく。

具体的には、完成樹形を踏まえた適切な植栽間隔の確保、ベビーカーや車椅子などの通行に支障をきたす街路樹の更新や撤去による適切な歩道幅員の確保、道路標識等が隠れるなどの影響を与える街路樹の剪定等により改善を図っていく。

あわせて、管理コストが少なく町並みとのバランスの取れた樹種へ更新することで、削減するコストを活用し、剪定・除草の頻度を進めていく。

街路樹は市民にとって身近な存在であり、地域住民との連携・合意形成を図りながら、本計画に基づく取組を進めていく。

の見直し等に取り組むなど、令和3年度から5年間で重点的に事業を進めていく。

また、本計画に基づき取組を進めていく。

藤沢市民会館等再整備事業 市民からの意見等を報告

藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会

藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会は、6月3日に開催され、藤沢都心部再生及び公共施設の再整備について審査した。

この日の委員会では、①「第3次藤沢市公共施設再整備プラン」の策定等②藤沢市民会館等再整備事業の進捗状況——以上2件について審査を行った。

○藤沢市民会館等再整備事業の進捗状況について

〈市の説明〉

補正予算常任委員会は、6月16日及び25日に開催された。6月16日の委員会では、議案2件を審査した。その結果、議案はすべて可決すべきものと決定した。

6月25日の委員会では、議案1件を審査した。その結果、議案は可決すべきものと決定した。

(仮称)2021年成人式 「集まる機会」 2日間に分けて開催を予定 補正予算

補正予算常任委員会は、6月16日及び25日に開催された。6月16日の委員会では、議案2件を審査した。その結果、議案はすべて可決すべきものと決定した。

その後、実行委員会で決めていく予定としているが、例えば中学校区で市内南北に分けての開催などを考えている。

想定する参加人数は、成人式の参加人数が概ね65%であるため、2日間で2800人程度を見込んでいる。

周知方法としては、7月10日号の広報ふじさわに掲載を予定している。また、2日間に分けて開催予定と

化拠点の課題解決に向けて検討を行った。

感染症対策の取組方針では、ソーシャルディスタンスを確保する観点から、面積を拡張する可能性を示した施設もあった。しかし、いずれの施設も使用時間や人数を制限することで対応していることなどから、現時点では、施設規模を維持したまま計画を進め、今後、国等から施設規模に影響を及ぼすガイドライン等が示された場合には、その基準に従った見直しを検討することとした。また、検温・手指消毒システムの設置等(※)の導入を前提とした計画——以上4点を検討す

また、事業予定地である生活・文化拠点エリアにおける課題について検討を行った。奥田公園及び同駐車場の活用等については、市民会館等の再整備と物理的一体性を意識して整備する意向の策定に向けて、引き続き市民や利用者から意見を伺っていく。

3年度の取組としては、藤沢市民会館等再整備基本構想策定検討委員会を設置し、基本構想を策定するとともに、庁内検討プロジェクトにおいて、複合化する機能及び規模の適正化や、近接する奥田公園等周辺施設の活用方法等の、様々な課題について検討していく。



成人式がオンライン配信となった新成人に集まる機会を提供する

療養する方のうち、悪化の可能性がある方に対し、主に広域事業者の看護師が毎日健康観察をし、必要に応じて輪番の医師会や病院の医師に相談しているところである。市内の医療機関は、コロナの患者対応やワクチン接種対応で診療等に従事していたため、学校の時間帯や、架電の方法など、3月から実施した中で課題を一定整理し、なるべく負担をかけない方法で実施させていただいている状況である。

また、ワクチン接種への影響については、今後集団接種等を検討していく中で、医師の確保等を医師会と検討しているところであり、医師への負担にならない方法で制度を検討していきたいと考えている。

また、水産物については、シラスとワカメの利用実績があるが、そのほかの水産物は量と質の安定等の課題解決が必要である。

また、事業予定地である生活・文化拠点エリアにおける課題について検討を行った。奥田公園及び同駐車場の活用等については、市民会館等の再整備と物理的一体性を意識して整備する意向の策定に向けて、引き続き市民や利用者から意見を伺っていく。



高い浸水リスクに備え、浸水対策施設の整備を進める=市民会館周辺

(※) PPP / PFI 手法…公民が連携して公共サービスの提供を行う仕組みを PPP と呼び、その代表的な手法の一つに PFI がある。PFI は、公共施設等の建設、維持管理及び運営等を民間の資金とノウハウを活用して行う手法のこと。